保 証 書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	SR650i	
[illegible]		
年 月	保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.( )
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
   （リ）お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯（iモード/J-スカイ/EZweb対応）またはパソコンから、お答えください。

① 「メール会員登録」をしてください。（登録無料）
② 宛先に『yupiteru@mo-on.com』、件名または本文に『会員』と入力し、メールを送信してください。
③ しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしたがって、必要事項を入力してください。

※迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。

宛先 yupiteru@mo-on.com
件名 会員
本文 会員

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0874

Super Cat 安全運転を支えるテクノロジー

GPSアンテナ一体型コードレスレーダー探知機

SR650i

取扱説明書

12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

液晶より見やすいEL表示 ………… ☛6ページ
リモコンでカンタン設定&楽々操作 ………… ☛12ページ
お手元のリモコンで、ELを見ながら各種設定操作もカンタン。
GPS14識別警報 ………… ☛28ページ
13バンド受信機能 ………… ☛37ページ
誤警報低減機能 ………… ☛25ページ
ホンモノの警報だけ、的確にお知らせする「インテリジェント・キャンセル」等、快適なドライビングをサポートします。
最適モード選択機能 ………… ☛16ページ
ふだんの生活圏内のときや遠くへドライブするときなど、最適な設定モード選択がカンタンにできます。
GPS測位機能 ………… ☛27ページ
S-EXTRA/スーパーエクストラ感度☆☆☆☆☆ ………… ☛21ページ
iDSP ………… ☛23ページ
統合的デジタル信号処理技術（iデジタル）により、超高精度識別を実現。
レーダーアラーム機能 ………… ☛22ページ
自動制御機能 ………… ☛9ページ
ity. ダウンロード機能 ………… ☛4ページ
ケータイでGPS登録データをダウンロード更新。
ity. MAP 80000 ………… ☛36ページ
約80,000件のMAPPLEポイントデータから、ケータイに周辺の地図を表示！

ity. intelligent telematics by yupiteru

ity.（アイティ）…それはカーライフに快適でインテリジェント（intelligent）な情報を提供するテレマティクス（telematics）という新しい技術 ――― ユピテルから

*テレマティクス/telematics＝telecommunication＋informatics

⚠注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

シガープラグコード接続時

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⚠警告

シガープラグコード接続時

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコード接続時

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■周辺の環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

■走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

本体

GPSデータ更新のダウンロードサービスの流れ

携帯電話またはパソコンで最新情報をGET ▶▶▶ 専用アダプターでダウンロード ▶▶▶ 最新情報に更新

DL-P1

携帯電話
アダプター
ダウンロードを開始します
「ピロッ…ピロッ…」
ダウンロードを終了しました
（ダウンロード中）
ミニコネクター
レーダー探知機

DL-SD1 携帯電話使用時

携帯電話
miniSDカード
miniSDアダプター
アダプター
ダウンロードを開始します
「ピロッ…ピロッ…」
ダウンロードを終了しました
（ダウンロード中）
ミニコネクター
レーダー探知機

DL-SD1 パソコン使用時

miniSDカード
miniSDアダプター
ダウンロードを開始します
「ピロッ…ピロッ…」
ダウンロードを終了しました
（ダウンロード中）
ミニコネクター
パソコン
SDメモリーカードリーダーライター
SDカード
アダプター
レーダー探知機
サーバー

アダプタージャック［ADAPTOR］
ダウンロード・アダプターを接続します。

レーダー波アンテナ（前面）
取締りレーダー波を受信します。

DCジャック［DC12V］（12V車専用）
付属のシガープラグコードを接続します。（8ページ）

電源スイッチ［PWR］
ONにすると電源が入ります。（18、27ページ）

GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

ソーラーバッテリー

赤外線受光部
リモコンの赤外線信号を受信します。

パイロットランプ
電源が入ると点滅します。シガープラグコード接続時は点灯します。（18ページ）

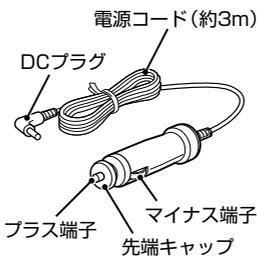
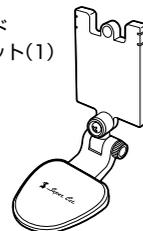
EL表示部
文字表示やアイコンで、各種警報や状態表示をします。

リモコン

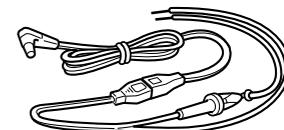
赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- 専用ニッケル水素電池（1）

- シガープラグコード（1）
- ダッシュボード取付用ブラケット（1）

- 吸着盤（2）
- マジックテープ（ブラケット用／リモコン用 各1）
- 取扱説明書・保証書（1）

別売品のお知らせ

■電源直結コードOP-4（約4m）
1,575円（税込）
シガーライターソケットを使わずに、アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。

■交換用ニッケル水素電池
2,100円（税込）
本電池は本機専用です。

青/緑/オレンジの3色有機LEDドットマトリックス表示により、文字やアイコンで警報や状態表示などをします。

アイコン表示について

❶❷ ❸ ❹ ❺ ❻❼

SE A

メッセージ表示部

●フレックスディマーについて

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のEL表示やパイロットランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

	表示名		アイコン	表示色	表示の意味
❶	バッテリー表示			青色	満充電·残量·要充電などの状態を表示します。
❷	GPS	測位表示		青色	測位中に点灯します。
		警報表示		青色	GPS14識別警報時に点滅します。
❸	無線警報表示			緑色	各種無線警報時に点滅します。
❹	レーダー警報表示			オレンジ色	レーダー波を受信時に点滅します。
❺	レーダー受信感度モード表示		C E SE − C S E SE	緑色	AACモードのON/OFFおよびレーダー受信感度等を表示します。 ☛21ページ
❻	ドライブ/ローカルモード表示		A L D L D	青色	設定しているモードを表示します。
❼	カーソル表示			青色	各種設定中に、次に押せるボタンを表示します。表示されていないボタンを押すと、『ビビッ』と鳴ります。本書では、右図のマークで説明しています。

※本書では、「カーソル表示」を省略しています。予めご了承ください。

GPSも、無線も、レーダーも、「液晶」より見やすいEL表示と『ボイス』のダブルで警報します。

- GPS 14識別警報
- 無線10バンド警報
- ベスト・パートナー 4識別警報
- レーダー波 3識別警報

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

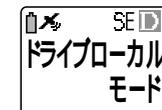
① オープニング表示

Super Cat

『ピロッピロッ（ピピピピピッ）…』

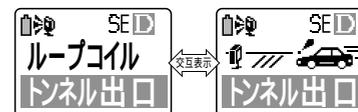
③ 待受画面/緯度·経度表示

CL
N 35°00'00.0
E135°00'00.0

④ モード表示

『ドライブ·ローカルモードです』

⑤ GPS/LHシステム警報

『ポーン　1km先 高速道LHシステムです』

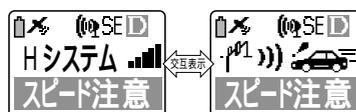
⑥ GPS/トンネル出口警報

『ポーン　トンネルの出口付近 ループコイルです』

⑦ GPS/Nシステム告知

『ポーン　右方向 すぐ先 Nシステムです』

⑧ GPS/ゾーン警告

『ポーン　トラップゾーンです スピード注意
トラップゾーンです スピード注意』

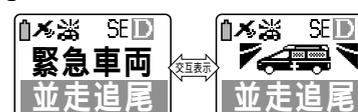
⑨ レーダー/Hシステム警報

『ピロッピロッ　Hシステムです』

⑩ 無線/カーロケ警報

『ピッピピッ　カーロケ近接受信です』

⑪ 無線/署活系警報

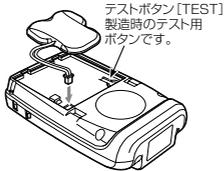
『ピピッピッ　署活系無線です』

⑫ 無線/ベスト·パートナー警報

『ピッピピッ　スピード注意』

※②と③の「待受画面」、および⑪の「署活系警報」の表示は、シガープラグコード接続時（ハイブリッドモード時）のみとなります。

ソーラーバッテリーからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。

本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーバッテリーのみでの駆動はできません。専用の充電池を接続して、初めて正常に動作しますので、必ず接続してください。ソーラーバッテリーは専用の充電池を補充電するためのものです。

2 ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの充電ができます。
ただし、初めてご使用になるときは、電源スイッチをONにして、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間で5回)以上、走行しながら充電してください。GPS測位は、電流を多く消費するため、電池の消耗により測位できないことがあります。また、特に初めてのときなど、地理的状況により測位に20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

※オートパワーOFF機能(☛9ページ)により、振動のない状態が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れますので、測位するまでの間は、3分以内に振動を与えて電源が切れないようにしてください。

- 本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブ**[特許出願中]**/ロングライフ設計**[特許 第2075785号]**および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。
- 充電は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。
- 満充電から無警報の状態で、約50時間※の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続き、ソーラーバッテリーからの充電が充分できなかったり、GPS測位の状況によっては、バッテリーの消耗が激しく、50時間以内にローバッテリー警告になることがあります。
  ※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。
- 付属の専用バッテリーには寿命があります。充電が充分できなくなったら、新しいものと交換してください。
  (寿命の目安としては、約3〜5年ですが、3年以内でも劣化することがあります。)
- 交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

●オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。また、振動を検出すると電源が入ります。

※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。
使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※ 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

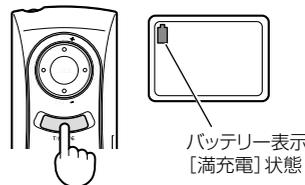
シガーライターソケットからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

⚠警告

! 助手席エアバッグの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

2 10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリー表示が[満充電]状態であることを確認する(☛9ページ)

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリー警告から、約10時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(☛ 5ページ)

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、『ポーン シガープラグコードを接続し　充電してください　GPS機能が停止します』とボイスでお知らせします。**[ローバッテリー警告]**

バッテリーの状態	バッテリー表示
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態 ※ローバッテリーモードになります。	(表示なし)「ポーン シガープラグコードを接続し、充電してください。GPS機能が停止します。」 ボイスでお知らせします。
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 •全ての機能が動作しなくなります。	(表示なし)「ブブブッ ブブブッ ブブブッ ･･････」 ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

※ローバッテリーモード
- GPS測位機能：全て「OFF」
- 無線警報機能：全て「OFF」
- レーダー警報音：「電子音」
- レーダー受信感度モード：「シティモード」

以上のモード固定となり、設定モードには入れません。

■バッテリーの残量表示について

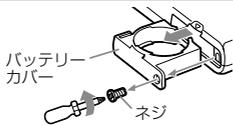
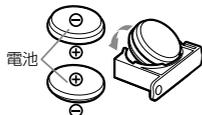
シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリー表示
残量が充分な状態 ［満充電］	点灯
少し消耗した状態 ［残量中/少］	点灯
充電が必要な状態 ［要充電］ (GPS測位機能は動作しなくなります)	点滅 要充電

- シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

リモコンの電池交換のしかた

1 バッテリーカバーの止めネジをはずす

2 バッテリーカバーを開ける

3 バッテリーを交換する
※電池の向きに充分注意してください。

4 バッテリーカバーを閉じ、ネジを締める

バッテリーカバー
ネジ

⚠警告

使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコンの電池の交換時期について

リモコンにはボタン電池(CR2032)が2個内蔵されています。リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。2個とも市販の新しいものと交換してください。

電池は、CR2032以外は使用しないでください。

寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

リモコンを固定する

リモコンを手に取りやすい決まった場所にマジックテープで貼り付けておくこともできます。

1 付属のマジックテープで貼り付け、手に取りやすい場所に固定する

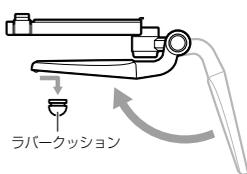
赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

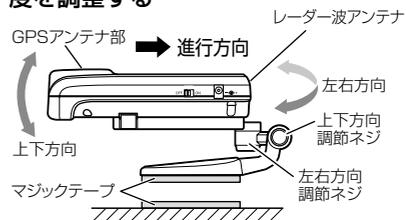
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界のよい場所に取り付けてください。

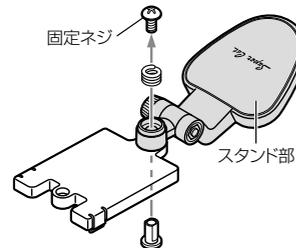
ダッシュボードに取り付ける

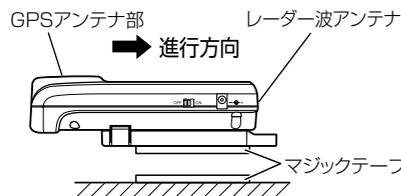
1 ブラケットからラバークッションをはずす

ラバークッション

- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 付属のマジックテープで貼り付け、本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する

- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。

ダッシュボードに直付けする

1 ブラケットの固定ネジをはずして、スタンド部をはずす

2 取り付けたとき、本体が道路に対して水平で、アンテナが進行方向(前方)を向くことを確認し、付属のマジックテープで、ブラケットをダッシュボードに貼り付ける

⚠警告

エアバックの上に取り付けないでください。
万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠注意

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。
破損の原因となります。

●本機はフレキシブルブラケット を採用しています。[特許出願中]

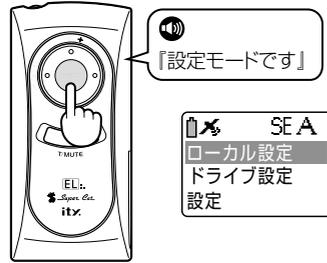
各種設定のしかた

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

各種設定は、EL を見ながら、リモコン操作で行います。

例 待受画面を選択設定するには・・・

1 「設定モード」にする

◉モードボタンを長押し（約1秒）します。

●選択項目が反転表示されます。

2 「設定」を選択する

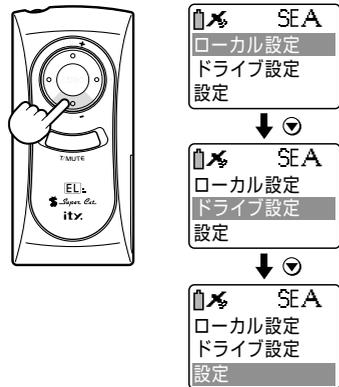
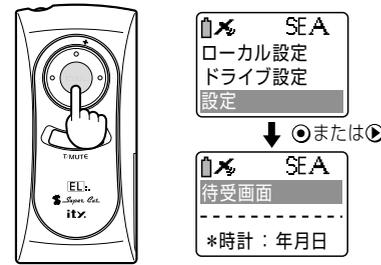
ダウンボタンを2回押します。

3 決定する

◉モードボタンまたは▶マイ・エリアボタンを押します。

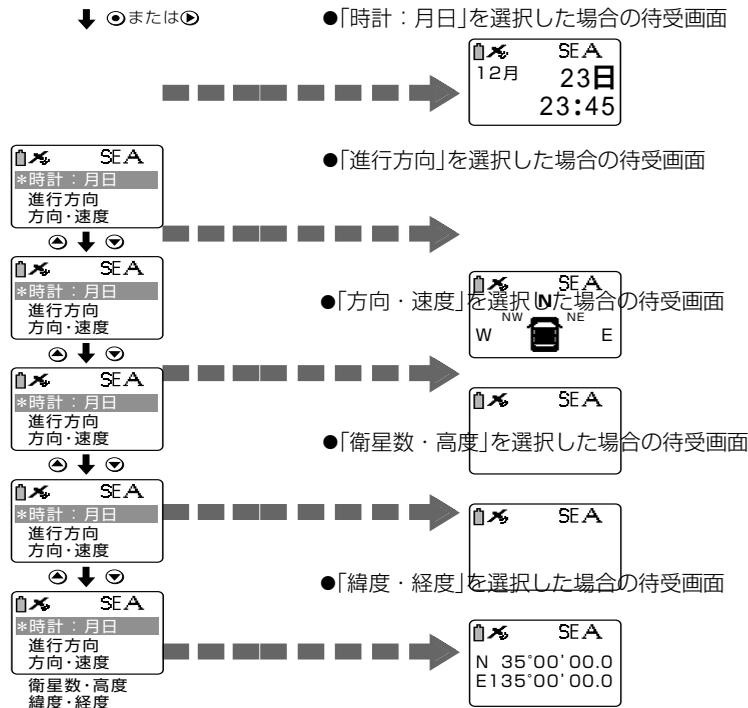
SEA
ローカル設定
ドライブ設定
設定

◉または▶

SEA
待受画面
＊時計：年月日

●現在設定されている項目に「＊」が付いています。

4 「待受画面」を選択する

◉モードボタンまたは▶マイ・エリアボタンを押したあとで、アップ/ダウンボタンを押して「待受画面」を選択します。

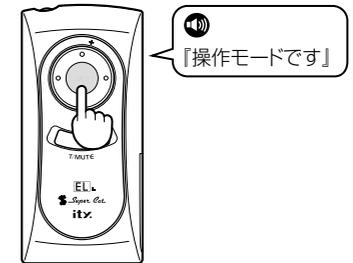
※待受画面は、テスト＆ミュートボタンを押している間や、シガープラグコードを接続したときに表示されます。

5 決定する

◉モードボタンを押します。

SEA
時計：月日
緯度・経度
＊進行方向

●変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

6 「操作モード」に戻る

◉モードボタンを長押し（約1秒）します。

設定メニューのフローチャートについて

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

設定モードのメニューのフローチャートにそって、「ローカルモード」「ドライブモード」の設定(変更)操作ができます。

操作モード

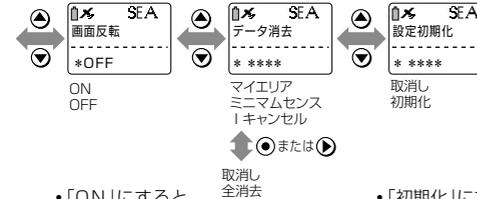
(長押し) (長押し)

設定モード

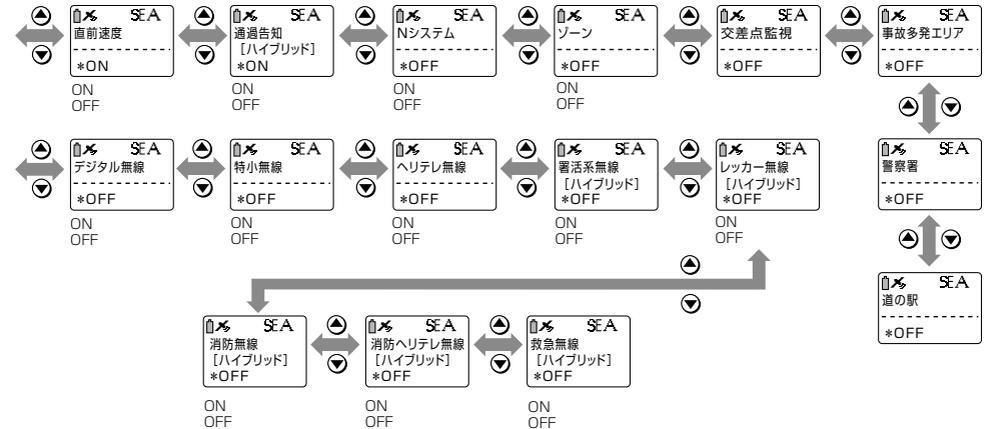
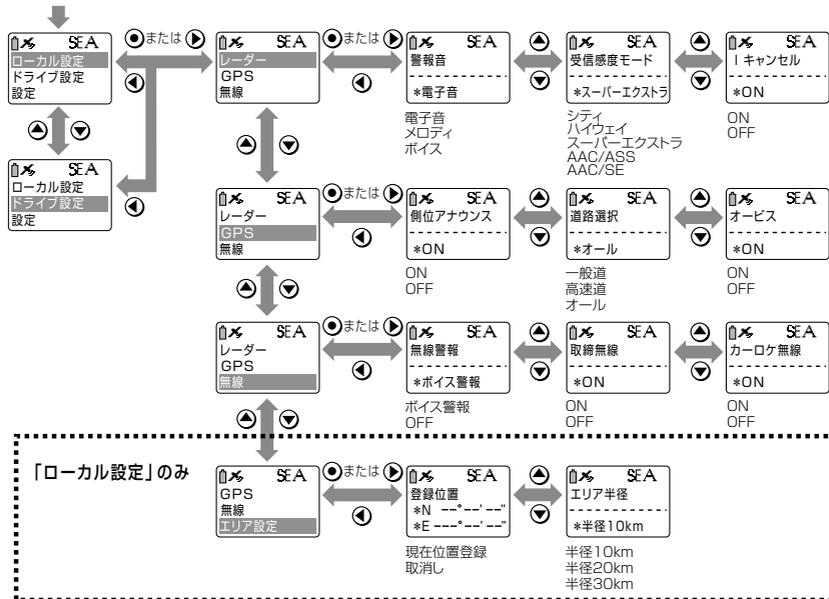
画面反転
*OFF
ON
OFF

データ消去
* ****
マイエリア
ミニマムセンス
Ｉキャンセル
または
取消し
全消去

設定初期化
* ****
取消し
初期化

- 「OFF」にするとメッセージ表示部には何も表示されません。
- 待受画面はテスト&ミュートボタンを押している間や、シガープラグコードを接続したときに表示されます。
- 「OFF」にすると設定操作時の確認音を消します。
- 「ON」にすると画面の上下が逆転します。
- 「初期化」にするとお買い上げ時の状態にリセットします。

操作モード

(長押し) (長押し)

設定モード

最適モード選択機能について

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

本機は、レーダー、GPS、無線の各種機能を個別に設定できます。
また、ふだんの生活圏内で使うときの「ローカルモード」と遠くへドライブするときの「ドライブモード」と2種類のモードを、それぞれお好みに応じてON/OFFなどの設定ができます。
そして、「ローカルモード」、「ドライブモード」と、この2モードを自動で切り換える「ドライブ・ローカルモード」、更に各種機能が全てONに設定されている「オールONモード」の4モードの中から、最適なモードをカンタンな操作で選択設定することができます。
例えば、ふだんの通勤では「ローカルモード」でお使いになり、遠くまでドライブするときは「ドライブモード」に切り換え、遠出から帰ったら「ローカルモード」へ戻すという使い方がカンタンにできます。
お買い上げ時には、「オールONモード」に設定されています。
また、各モードのお買い上げ時の設定値(初期値)は17ページの表の通りです。

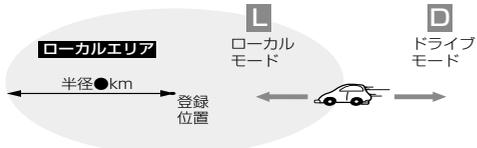
❶ オールONモード：A
各種機能がすべてONに設定されています。

❷ ローカルモード：L
例えば、通勤時など、ふだんの生活圏内でのご使用を想定し、必要最低限の機能をONに設定しています が、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。そして、その変更した内容をメモリーします。

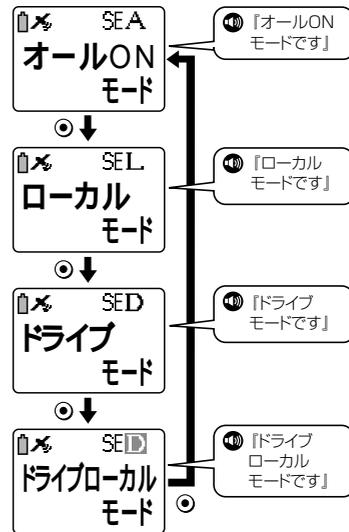
❸ ドライブモード：D
ふだんの生活圏(ローカルエリア)外、例えば、ふだんあまり出かけないところへ遠出する場合などを想定して設定していますが、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。そして、その変更した内容をメモリーします。

❹ ドライブ・ローカルモード：L または D
「ローカルモード」と「ドライブモード」を自動で切り換えるモードです。
設定したローカルエリア内では「Lローカルモード」で動作し、ローカルエリア外になると、自動的に「Dドライブモード」になり、また、ローカルエリア内に戻ると「Lローカルモード」と自動的に切り換わります。

ローカルエリアとは･･･

ふだんの生活圏をローカルエリアとし、設定した登録位置を中心に、半径10ｋm/20ｋm/30ｋmの中から選択設定できます。

モード選択のしかた

1 モードボタンを押す

◉モードボタンを押すたびにモードが変わり、ELとボイスでお知らせします。

「ローカルエリア」の設定のしかた

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」を選ぶ**
● 選択項目が反転表示されます。

❸ **「エリア設定」を選ぶ**

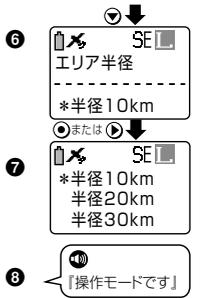
❹ **「登録位置」を選ぶ**

❺ **「現在位置登録」を選ぶ**
●「サーチ中」→「登録OK」→「登録位置/＊N…/＊E…」(現在位置の緯度・経度)が表示され、登録が完了します。
● GPS測位できない場合は、『ビービビッ』と鳴り、「受信失敗」と表示されます。

●「登録位置」未設定のままドライブ・ローカルモードにすると、ドライブモードで動作します。

❻ **「エリア半径」を選ぶ**
● 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❼ **「半径10km」「半径20km」「半径30km」の中から選ぶ**
● 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

❽ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

各モードの初期値一覧

		●オールONモード(設定変更不可)	●ローカルモード(設定変更可)	●ドライブモード(設定変更可)
レーダー	警報音	(ドライブモードの値と同じ)	電子音	電子音
	受信感度モード	(ドライブモードの値と同じ)	スーパーエクストラモード	スーパーエクストラモード
	Iキャンセル	ON	ON	ON
GPS	測位アナウンス	ON	ON	ON
	道路選択	オール	オール	オール
	オービス	ON	ON	ON
	直前速度	ON	ON	ON
	通過告知[ハイブリッド]	ON	ON	ON
	Nシステム	ON	OFF	ON
	ゾーン	ON	OFF	ON
	交差点監視	ON	OFF	OFF
	事故多発エリア	ON	OFF	OFF
	警察署	ON	OFF	OFF
	道の駅	ON	OFF	OFF
無線	無線警報	ボイス警報	ボイス警報	ボイス警報
	取締無線	ON	ON	ON
	カーロケ無線	ON	ON	ON
	デジタル無線	ON	OFF	ON
	特小無線	ON	OFF	OFF
	ヘリテレ無線	ON	OFF	OFF
	署活系無線[ハイブリッド]	ON	OFF	OFF
	レッカー無線[ハイブリッド]	ON	OFF	OFF
	消防無線[ハイブリッド]	ON	OFF	OFF
	消防ヘリテレ無線[ハイブリッド]	ON	OFF	OFF
	救急無線[ハイブリッド]	ON	OFF	OFF
エリア設定	登録位置	—	未登録	—
	エリア半径	—	10Km	—

音量/警報音/受信感度を設定する

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

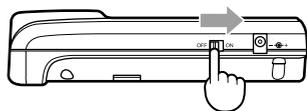
つづく

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチを「ON」にします。

ターン・オン・ビープ(🔊)ピロッピロッ…)が鳴り、パイロットランプが点滅します。

- 無線警報を「ボイス警報」に設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(☛36ページ)
- マナーモードのときは、ターン・オン・ビープは鳴らず、マナーモード表示を約5秒間します。

2 音量を調節する

リモコンの⊕アップ/⊖ダウンボタンで8段階に調節できます。

『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

確認するときは、テスト&ミュートボタンを押します。

このとき EL は待受画面になります。(☛13ページ)

- マナーモードのときは、約2秒間マナーモード表示します。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でテスト&ミュートボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(☛22ページ)

最大音量からさらに⊕を押すと『ブブッ』と鳴ります。

［マナーモード表示］

音量「0」からさらに⊖を押すと「マナーモード」になります。

解除するときは⊕を押します。

●マナーモードについて

マナーモードにすると、マナーモード表示を約2秒間したあと EL は消え、警告音も全くなくなります。

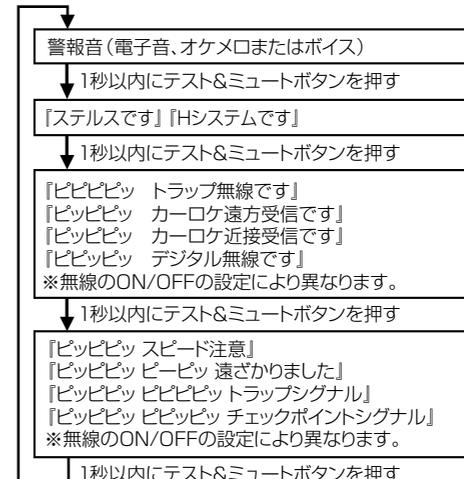
パイロットランプは点滅します。(シガープラグコード接続時は点灯)

一時的に、電源切の状態にしたいときに使います。

- マナーモードは、⊕を押すと解除できます。他のボタンを押すとマナーモード表示となります。

テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、オケメロまたはボイス)を確認することができます。

また、このとき EL は待受画面になります。(☛13ページ)

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。

警報音(電子音、オケメロまたはボイス)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ピピピピッ　トラップ無線です』
『ピッピピッ　カーロケ遠方受信です』
『ピッピピッ　カーロケ近接受信です』
『ピピッピッ　デジタル無線です』
※無線のON/OFFの設定により異なります。

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ピッピピッ スピード注意』
『ピッピピッ ピーピッ 遠ざかりました』
『ピッピピッ ピピピピッ トラップシグナル』
『ピッピピッ ピピッピッ チェックポイントシグナル』
※無線のON/OFFの設定により異なります。

1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す（最初に戻る）

3 警報音を選ぶ

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ**

● 選択項目が反転表示されます。

❸ **「レーダー」を選ぶ**

❹ **「警報音」を選ぶ**

● 現在設定されている項目に「*」が付いています。

❺ **「電子音」「メロディ」「ボイス」の中から選ぶ**

● 変更すると「*」が新しい項目に移ります。

［決定］

選択項目	モード	警報のしかた
電子音	電子音アラーム	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
メロディ	オケメロ&ボイスアラーム	𝄞『くるみ割り人形』に続けて『ご注意ください』とボイスで警報します。
ボイス	ボイスアラーム	『ピンポン ピンポン』のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。

❻ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❶ 『設定モードです』

❷ SE L ／ ローカル設定 ／ ドライブ設定 ／ 設定

◉または▶

❸ SE L ／ レーダー ／ GPS ／ 無線

◉または▶

❹ SE L ／ 警報音 ／ ---------- ／ *電子音

◉または▶

❺ SE L ／ *電子音 ／ メロディ ／ ボイス

❻ 『操作モードです』

使いかた／レーダー編

4 受信感度モードを選ぶ

❶ リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する

❷ 「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ

● 選択項目が反転表示されます。

❸ 「レーダー」を選ぶ

❹ 「受信感度モード」を選ぶ

● 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❺ 「シティ」「ハイウェイ」「スーパーエクストラ」「AAC/ASS」「AAC/SE」の中から選ぶ

● 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

選択項目	アイコン表示	受信感度モード	
シティ	C	シティモード	固定
ハイウェイ	E	ハイウェイモード/エクストラ感度	固定
スーパーエクストラ	SE	スーパーエクストラモード	固定
AAC/ASS	⊖(時速30km未満) C S E SE (車速により変化、☛21ページ)	AAC/不要警報カット ＋ASS/最適感度選択モード	自動選択
AAC/SE	⊖(時速30km未満) SE(時速30km以上)	AAC/不要警報カット ＋スーパーエクストラモード	固定

❷ SE L
ローカル設定
ドライブ設定
設定

◉または▶

❸ SE L
レーダー
GPS
無線

◉または▶＋▼

❹ SE L
受信感度モード
＊スーパーエクストラ

◉または▶

❻ 操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する

受信感度モードについて

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。
走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラモード	高速道路
↑	ハイウェイモード(エクストラ感度)	郊外や高速道路
低い	シティモード	市街地

「AAC/ASS」モードについて

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

●走行速度が時速30km未満の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

• GPS測位されない状態では、AACシステムは働きません。

ASS/最適感度選択

●走行速度が時速30km以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

• GPS測位されない状態では、ASS機能は働きません。

走行速度	受信感度	
30km〜	シティモード	
40km〜	ハイウェイモード	スーパー感度
60km〜		エクストラ感度
80km〜	スーパーエクストラモード	

「AAC/ASS」モードにすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。[ASS/最適感度選択：特許 第3051676号]

便利な機能について

オートクワイアット

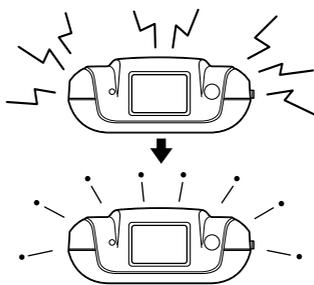
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

● **取締りレーダー波の発信源の確認ができたら**

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。このときオープニング画面になります。

- バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビープのあと、しばらくしてからローバッテリー警告をします。
- 無線警報を「ボイス警報」に設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(☛36ページ)

レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/オケメロ＆ボイス/ボイス)とELのダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
EL	受信レベルが変化します。 レーダー スピード注意 (受信レベル表示) ⇔交互表示⇔ スピード注意

- オケメロ＆ボイスアラームはテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット機能)

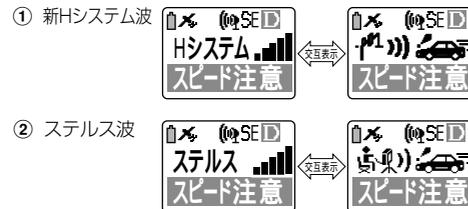
iDSPについて

(つづく)

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別してELとボイスのダブルでお知らせします。**[レーダー波3識別警報]**([ステルス識別]/[新Hシステム識別：特許 第3326363号・第3428531号])

① 新Hシステム波　Hシステム スピード注意 ⇔交互表示⇔ スピード注意

② ステルス波　ステルス スピード注意 ⇔交互表示⇔ スピード注意

③ 通常レーダー波

またカーナビからのGPSのモレ電波など妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。

さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。**[GPS排除：特許 第3044004号・第3160272号]**

- iDSPを解除することはできません。
- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※本機はフリップチップinアンテナ[特許 第3229564号]を採用しています。

ボイス識別

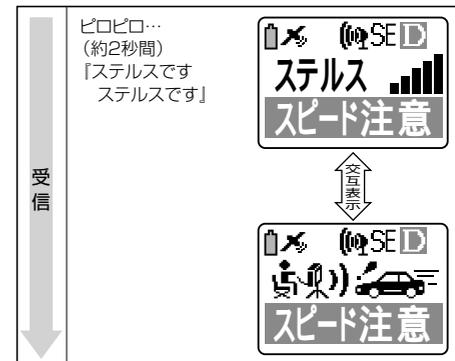
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波の識別警報することがあります。
- オケメロ＆ボイスアラームを選んでいるときでも、ステルス型取締り機や新Hシステムの電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>

● ELとボイスのダブルでお知らせします。

5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機（オービス）の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波（周波数は同一）を使用しているため、従来機では探知（受信）しにくくなります。
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

※ 電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

＜新Hシステム波を受信したとき＞

●はじめは選んでいる通常の警報音（ボイス、オケメロ＆ボイス、電子音）が鳴りますが、識別すると EL とボイスのダブルでお知らせします。

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。
本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**（自動識別＆排除設定機能）**
さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。**（自動補正機能）**
［特許 第3044004号・第3160272号］

カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

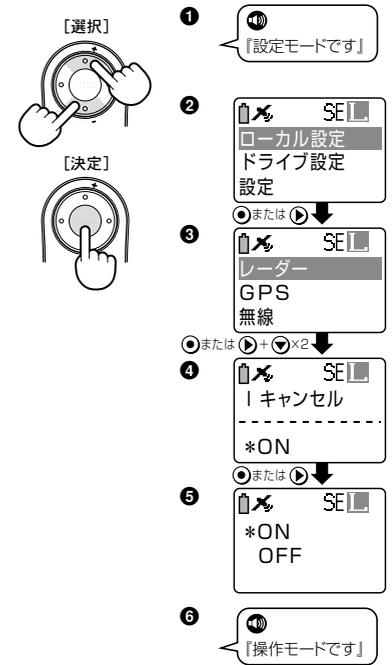
自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。

インテリジェント・キャンセルの使いかた （つづく）

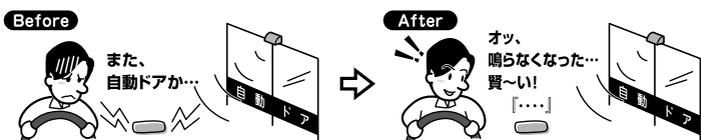
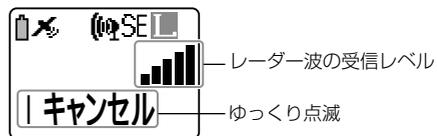
これまでのターゲットは、オービス・Nシステム・交通監視システム・ネズミ捕りや検問ゾーン等々…それに伴う超高感度化＆多機能化により、警報も多種多様になっています。
インテリジェント・キャンセルは、その中に紛れていたニセモノを排除します。
この機能をONにすると、「誤警報」と思われるエリアを自動登録し、次にその場所を通る時は、自動ドア等の電波を受信しても誤警報を抑えます。
『鳴りすぎ』を減らし、更なる快適ドライブを実現する機能です。［特許出願中］

＜「インテリジェント・キャンセル」のON/OFFのしかた＞

❶ リモコンの◉モードボタンを長押し（約1秒）する
❷ 「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ
● 選択項目が反転表示されます。
❸ 「レーダー」を選ぶ
❹ 「Ｉキャンセル」を選ぶ
● 現在設定されている項目に「＊」が付いています。
❺ 「ON」↔「OFF」を切り換える
● 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。
❻ 操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し（約1秒）する

使いかた／レーダー編

インテリジェント・キャンセルの使いかた

インテリジェント・キャンセルのしくみ

① 取り締まりレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取り締まり波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
最大100ヵ所まで登録され、それを超えるとキャンセル履歴の最も古いエリアを消去し、新しいエリアを登録します。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]
キャンセル中は、EL でお知らせします。

- GPS測位していない時や誤警報エリアの状況等によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、ミニマムセンス制御をあわせてご利用ください。(☛33ページ)

※「I キャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェント・キャンセル機能は働きませんが、自動登録したエリアは登録されたままです。再び、「I キャンセル」を「ON」に設定すると、前に自動登録されたエリアでもキャンセルされます。同様に、電源スイッチを「OFF」にしても、自動登録したエリアは登録されたままです。

自動登録されたエリアを全て消去するには…

❶ リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒間)する
❷「設定」を選ぶ
❸「データ消去」を選ぶ
❹「I キャンセル」を選ぶ
❺「全消去」を選ぶ
❻ ◉モードボタンを押し、全消去する

- 一旦、消去されると、元に戻すことはできませんので、ご注意ください。
- 登録エリアを個別に消去することはできません。

❷
SE L
ローカル設定
ドライブ設定
設定

◉または▶+▼×4

❸
◉または▶

❹
SE L
マイエリア
ミニマムセンス
I キャンセル

◉または▶

❺
SE L
取消し
全消去

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度･経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービス、そしてLHシステムも、EL とボイスのダブルで警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンなど、14種類のターゲットを識別して EL とボイスのダブルで警報します。[GPS14識別警報]

さらに、携帯電話を使って、オービスやNシステムなどの設置ポイント、速度取締りや検問などのゾーン警告の登録ポイントをダウンロード更新できます。(詳しくは同梱の「ユピテル ity.クラブ」パンフレットおよび申込書を参照願います。)[ダウンロード対応:特許出願中]

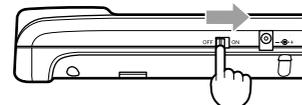
電池の消耗を防ぐ上手な使いかた

本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブ/ロングライフ設計および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては、電池の消耗が早くなることがあります。

- GPS14識別警報や無線警報など、各種設定を「OFF」にすると、電池の消耗には有利になります。

ローバッテリーの状態では、GPS測位機能は停止しますので、GPS14識別警報をはじめ、GPS測位に関する機能はすべて動作しません。
速やかに、付属のシガープラグコードを接続して、充電しながらご使用ください。

1 GPS測位機能を使う

電源スイッチを「ON」にすると、GPS測位機能も「ON」になります。(GPS測位機能のみ「OFF」にすることはできません)

GPSの電波をサーチしはじめます。

サーチが終わり、初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。
サーチ後、約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

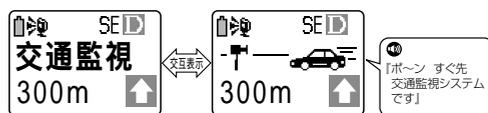
通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が約5分以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせします。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

GPS14識別警報について

つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを10種類に識別し、EL による文字表示と同時にボイスでW警報します。

① ループコイル

② LHシステム

③ Hシステム

④ レーダー通常波

⑤ トンネル出口オービス

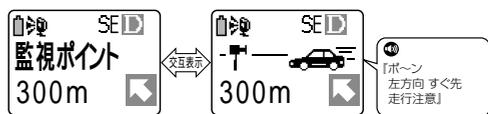
⑥ トラップゾーン

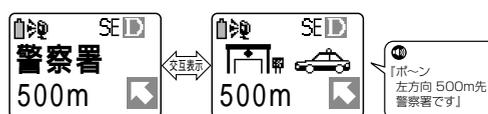
⑦ チェックポイントゾーン

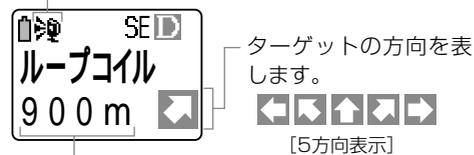
⑧ 交通監視システム

⑨ Nシステム

⑩ マイエリア

⑪ 交差点監視ポイント

⑫ 事故多発エリア

⑬ 警察署

⑭ 道の駅

GPSによる警告を表します。

ターゲットまでの距離を表し、近づくにしたがいカウントダウンします。

※光電管式オービスは撤去され、無人式オービスはループコイル/LHシステム/Hシステム/レーダー式の4種類になりました。

●ターゲット・カウントダウン表示 EL

ターゲット手前約1km警報から直前まで、ターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

- EL とボイスの距離が合わない場合があります。
- GPS測位の状況などにより、距離に誤差が生じる場合がありますので、目安としてください。

●オービス4段階警報 EL

①～④のオービスの手前約1km/500m/通過直前/通過後の最大4段階で告知します。
警告ポイントが約1km以内のときは、『1km先に』→『この先に』とボイスでお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて『500m先に』→『300m/200m/100m/すぐ先に』のいずれかでお知らせします。

●左右方向識別警報 EL

GPS14識別警報は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警報されません。さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向も EL とボイスのダブルで警報します。

- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは「右方向」「左方向」のボイスはありません。
- ターゲット手前約1km以内では、ゆっくり反転点滅し、約500m以内になると、速い反転点滅になります。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、ボイスで告知します。

●トンネル出口警報 EL

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスをELとボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●交通監視システム告知 EL

交通監視システムは約300m手前から通過直前に、ELとボイスのダブルで告知します。

- 新設の交通監視システムで、未登録の場合は、[交通監視システム告知]はされません。
- 2004年末現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実積はありません。

●オービス直前速度告知

オービス直前の車の速度をボイスで告知します。…『ポーン　速度は100キロ以下です』

- 速度は『120キロ以上』『120キロ以下』『100キロ以下』『80キロ以下』『60キロ以下』のいずれかで告知します。

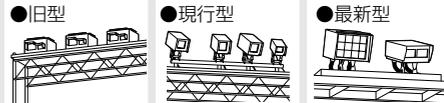
●ターゲット通過告知

シガープラグコード接続時はオービスの撮影ポイント(※)や事故多発エリア、警察署、道の駅の通過をボイスで告知します。…『ポーン　通過します』

※ 実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

●Nシステム告知 EL

Nシステムは約300m手前から通過直前に、ELとボイスのダブルで告知します。

- 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、[Nシステム告知]はされません。
- 「NシステムGPS告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

●旧型
●現行型
●最新型
●GPSゾーン警報 EL

GPSゾーン警報では、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンが予めメモリーされていて、そのゾーンの約1km手前の警報の他に、ゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階ともELとボイスのダブルで警報します。

トラップ・ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン 右(左)方向 1km先 (高速道) トラップ・ゾーンです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン トラップ・ゾーンです スピード注意　トラップ・ゾーンです スピード注意』 **※トラップ・ゾーンに進入すると、レーダー受信感度モードはスーパーエクストラモードになります。**（但し、「AAC/ASS」モードのとき。☛20ページ）
ゾーン圏外になった時…	『ポーン トラップ圏外です』

チェックポイント・ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン 右(左)方向に1km先 (高速道) チェックポイント·ゾーンです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン チェックポイント·ゾーンです　チェックポイント·ゾーンです 』
ゾーン圏外になった時…	『ポーン チェックポイント圏外です』

※ トラップ·ゾーンやチェックポイント·ゾーンは、過去のデータに基づきメモリーされていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください

●交差点監視ポイント警報 EL

チェックポイントのゾーン警告がされた後に、更にそのゾーン内で、すぐ先に交差点がある場合に『ポ〜ン　右(左)方向　すぐ先　走行注意』とボイスと[ＥＬ]のダブルで警報します。

●事故多発エリア EL

過去に事故が多発したエリアが予め登録されていて、その手前約1km(500m　(高速道)　事故多発エリアです』とボイスと[ＥＬ]のダブルで告知します。

●警察署告知 EL

『ポ〜ン　右(左)方向　1km(500m)先　(高速道)警察署です』とボイスと[ＥＬ]のダブルで告知します。

●道の駅告知 EL

全国の道の駅が予め登録されていて、その手前約1km(500m)になると、『ポ?ン　右(左)方向 1km(500m)先　(高速道)　道の駅です』とボイスと[ＥＬ]のダブルで告知します。

<「測位アナウンス」のON/OFFのしかた>

GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーンGPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』をくり返すことがあります。
このようなときは、次のような操作により、測位アナウンスをOFFにすることができます。

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ**
- 選択項目が反転表示されます。

❸ **「GPS」を選ぶ**

❹ **「測位アナウンス」を選ぶ**
- 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❺ **「ON」↔「OFF」を切り換える**
- 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

❻ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

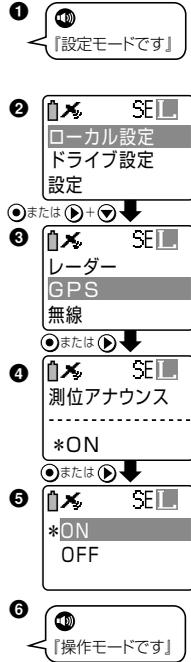
• 測位アナウンス「OFF」の場合でも、初めての測位のときは、測位アナウンスを行います。
• オールONモードの場合は、常に測位アナウンス「ON」となります。

［選択］　［決定］

❶
❷
◉または▶＋▼

❸
◉または▶

❹ 測位アナウンス ＊ON

◉または▶

❺
❻
<「道路選択」のしかた>

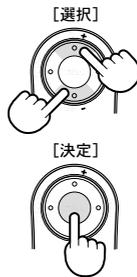
オービスなどのターゲットが設置されている道路を選択できます。

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ**
- 選択項目が反転表示されます。

❸ **「GPS」を選ぶ**

❹ **「道路選択」を選ぶ**
- 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❺ **「一般道」「高速道」「オール」の中から選ぶ**
- 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

「一般道」→ 一般道のターゲットのみ警報します。
「高速道」→高速道のターゲットのみ警報します。
「オール」→一般道および高速道の全てのターゲットを警報します。

❻ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

［選択］　［決定］

❶
❷
◉または▶＋▼

❸
◉または▶＋▼

❹
◉または▶

❺ ＊一般道 高速道 オール

❻
< 「GPS14識別警報」のON/OFFのしかた>

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ**
- 選択項目が反転表示されます。

❸ **「GPS」を選ぶ**
- 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❹ **設定を変更したい項目を選ぶ**

「オービス」	→ループコイル／LHシステム／Hシステム／レーダー式の警報のON/OFFができます。
「直前速度」	→「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。
「通過告知」	→「オービス通過告知」のON/OFFができます。ハイブリッドモード時(シガープラグコードを接続しているとき)で、「ON」に設定されているときに告知されます。
「Nシステム」	→「交通監視システム告知」および「Nシステム告知」のON/OFFができます。
「ゾーン」	→「GPSゾーン警報」のON/OFFができます。
「交差点監視」	→「交差点監視ポイント警報」のON／OFFができます。
「事故多発エリア」	→「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
「警察署」	→「警察署告知」のON/OFFができます。
「道の駅」	→「道の駅告知」のON/OFFができます。

❺ **「ON」↔「OFF」を切り換える**

❻ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

［決定］

❶ 『設定モードです』

❷
◉または▶＋▼

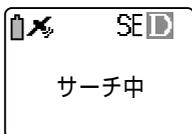
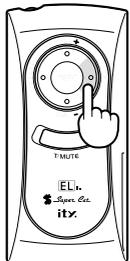
❸
◉または▶＋▼×2

❹
◉または▶

❺
❻

マイ・エリア警告の使いかた

1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点で▶マイ・エリアボタンを押します。

サーチ中

2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイ・エリアをセットしました』とボイスでお知らせします。

マイエリア
セット
しました

マイ・エリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km/500m/通過後(シガープラグコード接続時)の最大3段階で告知します。

●すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイ・エリアにセットされています』とボイスでお知らせします。

マイエリア
セット
されています

●いったん登録したマイ・エリアを解除するとき…

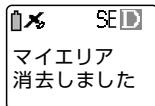
マイ・エリア登録されているエリアで、▶マイ・エリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイ・エリアを解除しました』とボイスでお知らせします。

マイエリア
解除
しました

●登録したマイ・エリアをすべて消去するとき…

1 リモコンの ◉モードボタンを長押し(約1秒間)する
2 「設定」を選ぶ
3 「データ消去」を選ぶ
4 「マイエリア」を選ぶ
5 「全消去」を選ぶ
6 ◉モードボタンを押し、全消去する

- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

※▶マイ・エリアボタンを約30秒押したままにすることでも、すべて消去することができます。

マイエリア
消去しました

●GPS電波を受信できず、マイ・エリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

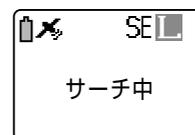
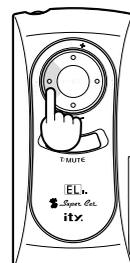
●マイ・エリア登録が30カ所を超えたとき…

マイ・エリア警告された履歴の最も古いエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

MSC/ミニマムセンス制御の使いかた

1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴るエリアで、レーダー警報を抑えたい地点で◀ミニマムセンスボタンを押します。

サーチ中

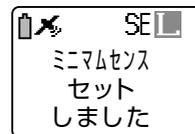
2 ミニマムセンス登録を確認する

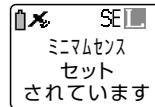
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン ミニマムセンスをセットしました』とボイスでお知らせします。

ミニマムセンス
セット
しました

ミニマムセンス登録したエリアに進入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約300mのエリアに進入すると、レーダー波の警報レベルをミニマム(最低)にし、不要なレーダー警報を抑えます。
[特許出願中]

GPS 14識別警報は、ミニマムセンス・エリア内でも警報されます。

●すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン ミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

ミニマムセンス
セット
されています

●いったん登録したミニマムセンス・エリアを解除するとき…

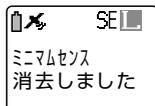
ミニマムセンス登録されているエリアで、◀ミニマムセンスボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン ミニマムセンスを解除しました』とボイスでお知らせします。

ミニマムセンス
解除
しました

●登録したミニマムセンス・エリアをすべて消去するとき…

1 リモコンの ◉モードボタンを長押し(約1秒間)する
2 「設定」を選ぶ
3 「データ消去」を選ぶ
4 「ミニマムセンス」を選ぶ
5 「全消去」を選ぶ
6 ◉モードボタンを押し、全消去する

- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

※◀ミニマムセンスボタンを約30秒押したままにすることでも、すべて消去することができます。

ミニマムセンス
消去しました

●GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

●ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…

ミニマムセンス登録されているエリアへの進入履歴の最も古いエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

ity. MAP 80000について

EL の緯度経度情報を携帯電話に入力すると、周辺の地図を携帯電話に表示します。
約80,000件のMAPPLEポイントデータから、欲しい情報だけ閲覧できます。（通信料有料）
『道の駅の近くまで来てる筈なんだけど…』こんな時、地図を見ながら目標物検索ができます。
ity. クラブ会員は、登録してIDを取得するだけで、無料でサービスが受けられます。
また、非会員の場合、年会費¥2,100（税込）のみで入会でき、何度でも閲覧できます。

ity. MAP 80000を利用するには・・・

ity. MAP会員の申し込みをする

● 詳しくは、同梱の「ユピテル ity. クラブ」申込書を参照いただくか、ity. クラブにお問い合わせください。

ity. MAP 80000の利用のしかた・・・

必ず、車を止めてから操作してください。

1 **リモコンのテスト&ミュートボタンを押したまま、◉モードボタンを押す**

● 緯度（N）・経度（E）が約１分間表示されます。

● 緯度・経度の表示は固定で、移動しても変わりません。

● 戻るときは、再度、テスト&ミュートボタンを押したまま、◉モードボタンを押します。

2 **携帯電話でity. MAP 80000の専用サイトにアクセスする**

http://www.yupiteru-itymap.com/i/

● パソコンでの場合

http://www.yupiteru-itymap.com/

3 **携帯電話にIDを入力する**

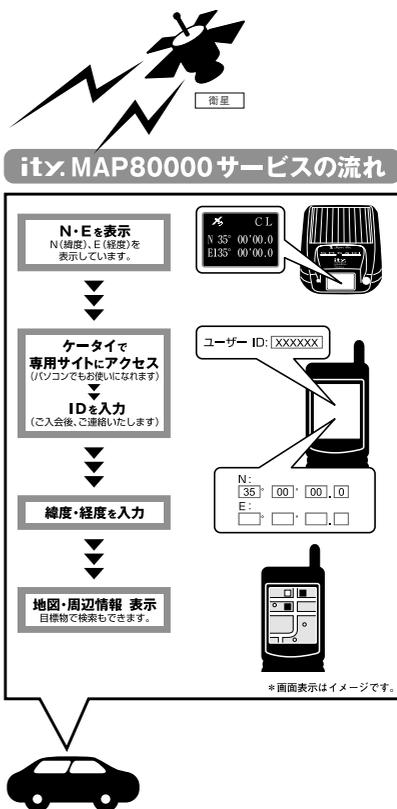
● IDは入会後、連絡されます。

4 **携帯電話に、緯度・経度を入力する**

● EL を見ながら、間違えないように入力します。

5 **周辺地図が表示されますので、携帯電話の画面に従って閲覧する**

13バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・Kツインバンドと GPSの3バンドの他に、無線10バンド受信をプラスし、業界最多の13バンド受信ができます。

1. 無線10バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線10バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、EL とボイスのダブルで警報します。**[無線10バンド警報]**
なお、これらの無線10バンドは個別にON/OFFの設定ができます。

<各種無線を受信すると…>

① 取締無線

② カーロケ無線

③ デジタル無線

④ 取締特小無線

⑤ ヘリテレ無線

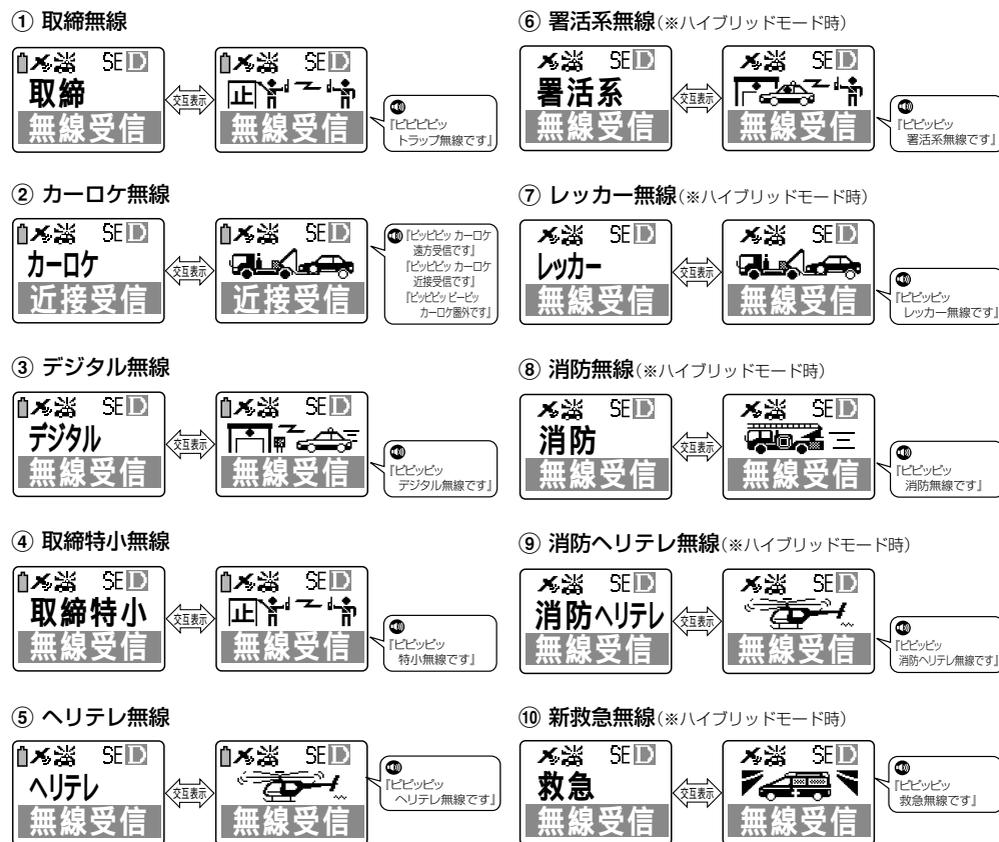
⑥ 署活系無線（※ハイブリッドモード時）

⑦ レッカー無線（※ハイブリッドモード時）

レッカー
無線受信
交互表示
無線受信
「ピピッピッ レッカー無線です」

⑧ 消防無線（※ハイブリッドモード時）

⑨ 消防ヘリテレ無線（※ハイブリッドモード時）

⑩ 新救急無線（※ハイブリッドモード時）

それぞれの無線の内容は、聞くことができません。

※ ハイブリッドモード時：
シガープラグコードを接続しているときで、それぞれの無線が「ON」に設定されているとき受信します。

- 各種無線を一瞬でも受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信しても、ボイスは鳴らずEL表示のみとなります。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- カーエアコン、電動ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、誤警報する場合があります。

＜各種無線の設定のしかた＞

❶ **リモコンの◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

❷ **「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選ぶ**

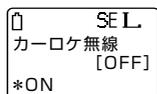
● 選択項目が反転表示されます。

❸ **「無線」を選ぶ**

● 現在設定されている項目に「＊」が付いています。

❹ **「無線警報」の設定をする**

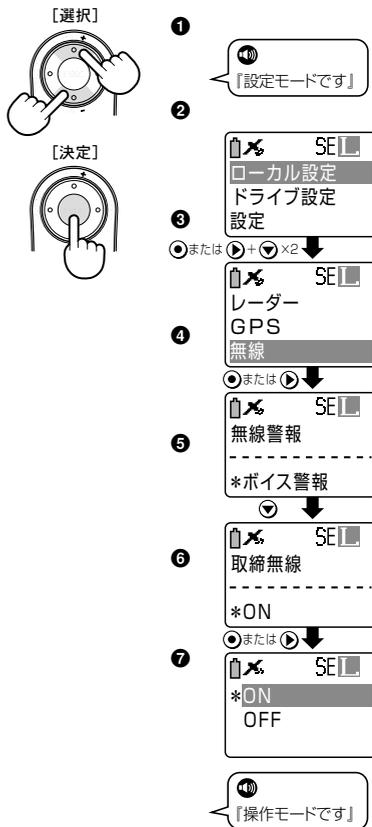
● 「無線警報」は「ボイス警報」に設定されていますが、警報しないときは「OFF」を選びます。

● 「OFF」にすると、全ての無線警報を行いませんので、

ご注意ください。

❺ **設定を変更したい無線を選ぶ**

❻ **「ON」↔「OFF」を切り換える**

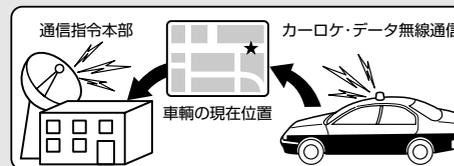
● 変更すると「＊」が新しい項目に移ります。

❼ **操作モードに戻るときは◉モードボタンを長押し(約1秒)する**

1 取締無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。
※ カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイスでお知らせしたり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承願います。

2 カーロケ無線

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
このように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

3 デジタル無線

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159〜160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

4 取締特小無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

5 ヘリテレ無線

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

6 署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

7 レッカー無線

主に東名阪の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。予めご了承ください。

8 消防無線

消防車が消火活動時や、活動後に消防署に帰るまでに連絡用として使われる無線が消防無線です。

予め受信察知することにより、消防車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

9 消防ヘリテレ無線

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

10 新救急無線

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。

予め受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

2. カーロケ遠近識別＋圏外通知［特許出願中］

407.7MHz帯の電波を受信したとき、その発信元が遠方のときは、『ピッピピッ カーロケ遠方受信です』とボイスとELのダブルでお知らせします。**［カーロケ遠方受信］**

また、発信元が近接しているときは、『ピッピピッ カーロケ近接受信です』とボイスとELのダブルでお知らせします。**［カーロケ近接受信］**

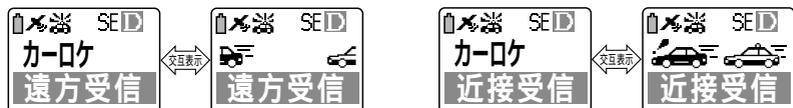
このように、発信元の遠近を自動識別してボイスとELのダブルでお知らせします。**［カーロケ遠近識別］**

更に、［カーロケ近接受信］後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピピッ ピーピッ カーロケ圏外です』とボイスとELのダブルでお知らせします。**［圏外通知］**

<ストレス・モード>　<リラックス・モード>

カーロケ遠近識別＋圏外ボイス通知により、ストレスモード⇔リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

カーロケ 遠方受信 交互表示

カーロケ 近接受信 交互表示

- カーロケ近接受信すると、圏外通知するまでの間、圏内表示します。

3. ベスト・パートナー 4識別警報［特許出願中］

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状況からシミュレーションし、快適ドライブのベスト・パートナーとして、安全走行のためのタイムリーなアドバイスをELとボイスのダブルでお知らせします。**［特許出願中］**

1 「取締無線」「カーロケ無線」「デジタル無線」の設定をすべて「ON」にする

- いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベスト・パートナー機能が働きません。

種々の無線を受信すると・・・

①緊急車輌などが並走または近くにいる可能性が高い時

（2回くり返し）

②近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高い時

ピッピピッ ピ～ピッ 遠ざかりました

（2回くり返し）

③比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高い時

トラップ 無線受信 交互表示

ピッピピッ ピピピピッ トラップ・シグナル

（2回くり返し）

④比較的近くで検問などが行われている可能性が高い時

（2回くり返し）

- ③&④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラモードとなります。（但し、「AAC/ASS」モードのとき。☛20ページ）

※ ボイスによるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1.追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

2.距離と時間で算出する方法（光電管式、ループコイル式）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3.レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

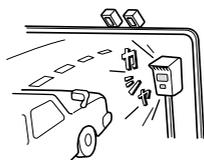
取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（オービスⅢ）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

●Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

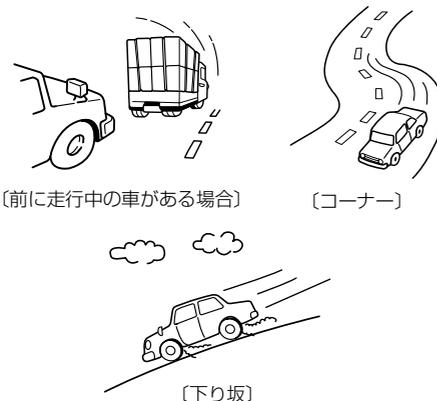
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕　〔コーナー〕

〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

項目	仕様
電源電圧	DC 3.6V（専用ニッケル水素電池1.2V×3） DC 12V（シガープラグ入力充電電圧）
消費電流	待機時：16mA以下（UHF/VHF部 OFF時） 最大：240mA以下
受信方式	［GPS部］16チャンネル/パラレル受信方式 ［レーダー部］スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
表示部	パッシブマトリックス駆動方式 有機ELディスプレイ
受信周波数	［GPS部］1.6GHz帯 ［レーダー部］Xバンド/Kバンド ［UHF部］340～470MHz帯 ［VHF部］154～160MHz帯
動作温度範囲	−20℃～+85℃ （GPS部：−20℃～+80℃） （UHF/VHF部：−10℃～+60℃）
外形寸法	［本体］70（W）×29（H）×115（D）mm（電池部除く） ［リモコン］32（W）×69（H）×16（D）mm
重量	［本体］195g（電池含む） ［リモコン］23g（電池含む）

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。 • バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 • オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	• 太陽光を充分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 • シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
反応（警報）しない	• 電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 • 警報機能が正しく働きますか。テスト＆ミュートボタンを押して確認してください。 • オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスⅢではよくあります） • 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 • ミニマムセンス登録したエリアではありませんか。 • インテリジェント・キャンセルされていませんか。キャンセル中は EL で表示します。 • AACシステムがONで、時速30km以下のときは警報しません。 • 「マナーモード」になっていませんか。⏏アップボタンを押して解除してください。
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。 • 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	• ローバッテリーアラームではありませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 • 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輌通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
カーナビゲーションの影響を排除できない	• 自動ドアなどの常に電波の出ている場所でエンジンを始動した場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。 • 一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
Nシステム告知しない	• 「Nシステム」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	• 「Ｉキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締りや検問ゾーン、またはマイ・エリア登録したエリアではありませんか。
リモコンで操作できない	• リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 • リモコンの赤外線が遮られていませんか。 • 操作部の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
何も表示しない	• 「マナーモード」になっていませんか。⏏アップボタンを押して解除してください。

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体（消耗部品を除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名（車種）、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービス、交通監視システム、Nシステム、トラップおよびチェックポイントのデータが登録されています。

最新データへの更新をご要望される場合、同梱の「ユピテル ity. クラブ」パンフレットおよび申込書をご覧ください。会員になると携帯電話を利用してGPSデータをダウンロードできるサービスが受けられます。

また、従来のお預かり更新サービス（送料別・税込¥5,250）をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日10：00～18：00です。
ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。
お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●製品の機能・仕様、取扱方法に関するお問い合わせ

……お客様ご相談センター　TEL. (0564)45-5599

●修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL.（011）618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL.（022）284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL.（03）3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33　芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部　TEL.（052）769-1601 〒453-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL.（06）6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL.（082）230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL.（092）552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

• 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
• 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。